

## 疫学研究のお知らせ

当科では下記の研究を行っております。

研究課題名：新規照射法を用いた線量分布改善に関する検討

研究の目的：昨今、放射線治療の分野では、IT・技術革新に伴う放射線治療装置および治療計画装置の開発・改良が飛躍的に発展した結果、動体追尾照射や強度変調回転照射法などの従来では予想もできなかった新規照射法が実施可能となってきています。しかしながら、適切な臨床適応に際しては、従来法と比べどの程度の臨床的な利益が見込めるのか、どのような場合にどのように使用するのとその利点を最大限活用できるのか等について、事前に定量的な評価を行うことが必要となります。抗腫瘍効果を落とすことなく、いかに正常組織の障害を低く抑えるか、というのはがんの放射線治療における共通テーマであり、従来以上の高度な線量分布最適化が可能となれば、より高い治療効果と安全性が得られる治療法として意義は大きいものと考えます。

研究の方法：新規照射法によりどの程度の臨床的利益・改善が見込めるのか線量分布の検討を行います。過去に当院で従来法により放射線治療が行われた既存の患者画像データを用いて新しい照射法による治療計画をコンピュータ上でシミュレーションし、従来法と各線量指標の比較することで改善点、問題点を検討し、部位ごとに臨床適応の可否並びに最適な適応方法を検討します。本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院 医の倫理委員会の承認を得て実施されています。

研究成果発表：学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

問い合わせ先：本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

研究事務局

京都大学医学部附属病院 放射線治療科

溝脇 尚志

電話：075-751-3762、FAX：075-771-9749